

3年 国語 週3時間

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。

(1) 知識及び技能に関する目標

- 言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関すること等の「知識及び技能」を社会生活における様々な場面で主体的に活用できる能力を身に付ける。

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する目標

- 互いの立場や考えを尊重し、言葉を通して正確に理解したり適切に表現したりする力を高めること。
- 論理的に思考する力や豊かに想像する力を身に付ける。

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する目標

- 言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること、言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりして心が豊かになること、言葉を通じて人や社会と関わり自他の存在について理解を深めることを、言葉の価値として認識できる能力を身に付けさせる。
- 相手、目的や意図、場面や状況に応じて適切な言葉を取捨選択し、文章の中で言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えることができる能力を身に付けさせる。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	単元名・教材名	内 容	達成目標（ねらい）
1 学期	4	1 豊かに想像する ・詩「岩が」	・詩の内容理解と鑑賞	・詩に描かれた情景や作者の思いを捉えることができる。 ・交流を通して考えを広げたり深めたりできる。
		・小説「握手」	・構成や場面の展開に着目して小説を読み取る。	・登場人物の言動に着目して読み、登場人物の心情や語り手の思いを捉えることができる。 ・語り手の思いを捉え、自分の考えをもつことができる。
		・言葉発見①	・辞書の語釈	・多義語の解釈を理解することができる。
		・書写	・漢字と仮名の調和	・行書の特徴を理解し、漢字と仮名の調和に気を付けて書くことができる。
	5	・グループディスカッション	・合意形成へ向けての話し合い	・話し合いを計画的に進めるための方法を理解し互いの考えを生かしながら議論や討論ができる。
		・漢字を身に付けよう①	・常用漢字の読み書き	・常用漢字の読み方が理解できる。
	6	2 分かりやすく伝える ・批判的に読むとは	・批判的に読む方法の理解	・批判的に読むためのポイントを捉えられている。
		・評論「間の文化」	・批判的に読む方法を活用して内容を理解する。	・筆者の主張を捉え、日本文化について自分の考えを深めることができる。
		・課題作文	・条件に応じた課題作文の書き方	・表現を工夫して自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
		・漢字の仕組み	・四字熟語	・四字熟語を理解し、活用することができる。
7	・漢字を身に付けよう②	・常用漢字の読み書き	・常用漢字の読み方が理解できる。	
	3 ものの見方・感性を養う ・俳句の世界 俳句十句	・俳句についての理解 ・俳句の鑑賞	・俳句の決まり事を理解できている。 ・俳句に詠まれている情景や心情を想像しながら鑑賞することができる。	
	・批評文	・構成を工夫して批評文を書く。	・論理の展開や構成を工夫して、相手を説得する批評文を書くことができる。 ・交流を通して批評文を改善できる。	
	・言葉発見②	・和語、漢語、外来語、混沌語	・和語、漢語、外来語、混沌語について理解し使い分けすることができる。	
		・随想「希望」	・筆者の思いを捉え、自分の考えをもつ。	・筆者の見方に着目して内容を読み取り、話し合いを通じて自分の考えを深めることができる。

		<ul style="list-style-type: none"> 私の読書体験 	<ul style="list-style-type: none"> 読書の意義 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで読書に親しみ、読書を通して学んだことを実生活に生かすことができる。 	
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を身に付けよう③ 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み方が理解できる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 4 論理的に考える 論説「フロン規制の物語」 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読み、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 異なる立場の説明を読み比べ、筆者のものの見方や考え方を捉え、科学と社会の関係について自分の考えを広げることができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 言葉発見③ 	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句、ことわざ、故事成語 	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句、ことわざ、故事成語の意味や用法を理解することができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> パブリック・スピーキング 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて表現や構成を工夫してスピーチをすることができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 漢字を身に付けよう④ 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み方が理解できる。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 5 古典に学ぶ 和歌の世界 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句に関する理解 俳句の鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の決まりごとを理解し、俳句を鑑賞し、鑑賞文を書くことができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> おくのほそ道 	<ul style="list-style-type: none"> 音読 古文の内容理解 	<ul style="list-style-type: none"> 古文の表現やリズムを意識して音読できる。 芭蕉の旅に対する思いを捉えることができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 言葉発見④ 	<ul style="list-style-type: none"> 世代による言葉の違い 	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過や世代の違いによる言葉の違いを理解できる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 論語 	<ul style="list-style-type: none"> 音読 漢文の内容理解 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の響きやリズムに着目しながら音読できる。 論語の内容を理解し自分の生き方に生かそうとする。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 表現プラザ 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを漢字一字で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な語句を取捨選択し、これまでの自分を漢字一字で表すことができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 漢字を身に付けよう⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み方が理解できる。 	
	11	6	<ul style="list-style-type: none"> 情報を関係づける 論説「情報社会を生きる」 実用文「広告の読み比べ」 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料の読み比べ 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を読み比べ、議論や討論を通して、メディアについて自分の考えをもつことができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ポスター 	<ul style="list-style-type: none"> 構成を工夫してポスターを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 集めた材料の客観性や信頼性を踏まえ、伝えたいことを明確にしてポスターを書くことができる。
			<ul style="list-style-type: none"> 文法の窓 	<ul style="list-style-type: none"> 表現につながる文法 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の選択による表現の違いについて理解できる。
		<ul style="list-style-type: none"> 漢字を身に付けよう⑥ 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み書き 	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読み方が理解できる。 	
12		7	<ul style="list-style-type: none"> 読みを深め合う 詩「初恋」 	<ul style="list-style-type: none"> 文語定型詩の理解 音読 	<ul style="list-style-type: none"> 文語定型詩の特徴とリズムを理解して音読することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 言葉発見⑤ 		<ul style="list-style-type: none"> 敬語の働き 	<ul style="list-style-type: none"> 敬語の働きについて理解し活用することができる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 小説「故郷」 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に込められている作者の思いを捉え、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に描かれている内容を踏まえ、人間、社会、自然などについて自分の意見や考えをもち、交流を遠して深めることができる。 		
1	<ul style="list-style-type: none"> 書写 	<ul style="list-style-type: none"> 書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で学習したことを生かし、文字の大きさと配列に気を付けて書き初めを書くことができる。 		

3 学 期		・ブックトーク	・シナリオを考えてブックトークを行う。	・読書の意義と効用について理解し、工夫して分かりやすいブックトークを行うことができる。
		・漢字を身に付けよう⑦	・常用漢字の読み書き	・常用漢字の読み方が理解できる。
	2	8 視野を広げる ・論説「文殊の知恵の時代」	・自分の知識や経験などと照らし合わせながら自分の意見をもつ。	・筆者の主張を捉え、これからの社会について自分の意見をもつことができる。
		・小説「坊っちゃん」	・作品の特徴を捉える。	・言葉の使われ方や人物の描かれ方に着目して読み、作品の特徴を捉えることができる。
	3	・漢字を身に付けよう⑧	・常用漢字の読み書き	・常用漢字の読み方が理解できる。
		・名言集「中学校生活を振り返って」	・互いの名言集を鑑賞し合い、交流を通して自分の考えを広げることの楽しさを味わう。	・学習の見通しをもって名言集を作成し、交流を通して自分の考えを広げることができる。
	・書写	・文字の歴史 ・実用的な書写	・3年間の学習内容を踏まえ、作品を制作することができる。	

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の大体を読むことができる。 ・表現するのに必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・敬語など相手や場に応じた正しい言葉遣いをすることができる。 ・情報の信頼性を確かめ活用することができる。 ・古典の世界に親しむことができる。 ・書写で学習したことを生活に生かすことができる。 ・読書の意義と効用について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・漢字テスト ・小テスト ・ワークシート ・書写の作品 ・読書記録
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から話題を決め、表現を工夫して分かりやすく話すことができる。 ・話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・構成や表現の仕方を工夫して、多様な読み手を説得できる文章を書くことができる。 ・文章を批判的に読みながら、文章の内容を捉え、自分の考えをもつことができる。 ・人間、社会、自然などについて自分の考えをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート ・ワークシート ・スピーチ ・聞き取りメモ ・作文等
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動に意欲的に参加し、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・学習したことを積極的に生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・交流メモ ・ノート

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・発問に対しては、自分の頭で考え、友達との交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしましょう。
- 友達の意見や考えを通して気付いたことを、ワークシートやノートに色ペンで書くなどして、自分の思考の変容が分かるようにすると効果的です。
- ・黒板に書かれたことは、きちんとノートに書きましょう。
- ・友達の意見や先生の説明を聞いて、メモをとる習慣を身に付けましょう。
- ・宿題や提出物は、期限を守って提出しましょう。
- ・毎時間の授業の振り返りを行う際、次の授業における目標を自分で決めるようにしましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・毎時間漢字テストを実施します。範囲も事前に示されているので、満点をとれるよう毎日練習しましょう。
- ・復習も大切ですが、予習をしてから授業に臨むようにしましょう。次の時間で学習する範囲を読み、ワークをやっておくと授業内容がスムーズに頭に入ります。
- ・読書の習慣を身に付けましょう。
- ・週末の宿題の内容は、過去の入試問題が中心となっています。入試対策の一環でもあるので、根気強く解くようにしましょう。

6 定期テスト前の取組についてのアドバイス

- ・教科書、ノートを見直し、どの授業で何を学んだのかを振り返りましょう。
- ・漢字の練習や文法の練習問題等、繰り返し何度も練習しましょう。
- ・教科書ワークの問題を見直しておきましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・漢字や文法の練習問題は、完璧に覚えるまで、繰り返し練習することが大切です。
- ・教科書に傍線を引いたところは、重要な箇所です。ノートと照らし合わせながら、よく見直しておきましょう。